

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくエジソンふくしま鷺洲教室		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年4月4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年2月27日 ～ 2025年3月16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの健康や発達の状況について、保護者と連絡や共通理解ができている 共感的に支援している	送迎の引き渡しの際、その日の様子などを直接話す 保護者からの相談を教室会議などで共有	情報収集をし、様々な支援につなげる
2	固定化にならないプログラムの提供	地域行事への参加 日々のプログラムはランダムで担当	親子イベントの企画
3	職員数の充実	他教室と協力し、人員の調整を行っている	人員を増やし、佐那に充実した支援を行えるようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングやご家族への研修・情報提供 父母の会など保護者同士の交流の機会や兄弟向けのイベント開催等	教室が狭いため、多くの人を呼ぶことが難しい	ペアレントトレーニングの開催 屋外でできるDCDトレーニングや親子イベントなどを企画
2	バリアフリー化されていない	教室選び	高めの段差を少しでもなくすため、玄関にマットを用意 玄関の鉄板が雨の日は滑りやすいため、滑り止めテープを貼り付け
3			